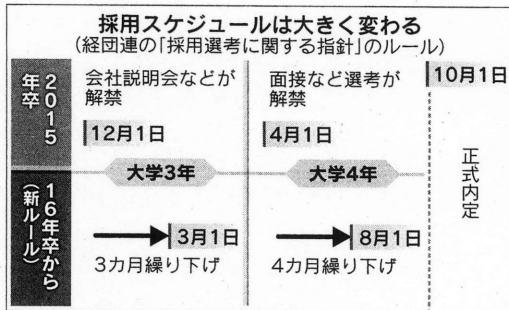


# 大学3年就活もう号砲

## 大手サイト6月登録開始

2016年卒となる大学3年生の就職活動が早くもスタートする。大手就活サイトが6月1日から登録受け付けを開始。景気回復を受けて人材確保を急ぐ企業は例年以上に夏からのインターンシップを重視する見通しで、すでに説明会も始まった。16年卒は学業への配慮から採用選考の開始時期を従来より4カ月遅らせることになったはず。だが、就活はむしろ長期化しそうだ。



## 売り手市場、焦る企業

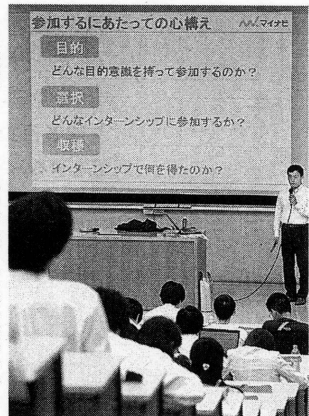
「あなただけの就活準備をサポートします」。リクルートの就活支援サイト「リクナビ」に16年卒となる大学3年生向けコーナーの入り口ができた。「6月1日0時オープン」とある。同日から学生の登録を受け付け、就活情報などを提供する。マイナビ(東京・千代田)も同様の告知を用意、同時刻に16年卒向けを開く。

「集めきれない」15年卒の就活はまだ続いているが、早くも16年卒の戦線が事実上スタートした。

例年、両社は6月に大学3年生向けサイトを開くが、採用に直結しない前提のインターンの募集が中心だった。経団連の「採用選考に関する企業の倫理憲章」でインターンは「採用選考活動と一切関係ないことを明確にして」実施すると決めているためだ。



### インターンで争奪



中央大のインターン説明会(29日、東京都文京区)

今年は少し趣が違つた。「企業規模を問わず、採用活動にインターンを重視している」とマイナビの三上隆次編集長は指摘する。「15年卒の学生を想定通り確保できなかった反省がある」という。

大手企業では一息ついた15年卒採用は、景気回復を受けて採用人数を増やす企業が続出。「奪い合いで募集人数が減った。必要な人材を集めきれなかった(精密大手)という企業が多かった。学生の「売り手市場」は16年卒も続くともられ、学生に一刻も早く接触し、有望な人材に目をつけておこうとする動きが相次いでいる。

「みんなの就職活動日記」を運営する楽天はインターンの合同企業説明会を昨年より約2週間早い5月13日から始めた。需要が多いと見てマイナビも4年ぶりに合同説明会を開く。

採用解禁が遅く企業が焦る理由はもう一つある。16年卒向けから採用活動のスケジュールが変わることだ。経団連の倫理憲章では会社説明などの解禁が3年生の12月、採用選考の解禁が4年生の4月だった。安倍晋三首相が「学業に専念する期間を長くすべきだ」と要請したことを受け、それぞれの解禁時期

を見直し、面接などの採用選考は4年生の8月からとなった。スケジュールの大幅な変更で企業は疑心暗鬼になっている。インターンを実施する3年生の夏休みから採用選考までの時間が長くなるため、今年は秋・冬インターンも相次ぎ登場する。燃料商社のシナネンは初めてのインターンを10月ごろに実施する予定。川崎汽船も実施時期は秋か冬だという。イオは夏から秋・冬にかけて実施する。

学業を優先する狙いだつたスケジュール変更は逆に、就職活動を長期化させる要因になりかねない。経団連ルールでは、就業体験を通じて、業界や企業への理解を深めるのがインターンの目的。実際に採用に直結することになるのか。

あるIT企業の採用担当者は「競合のIT企業はこれまでも倫理憲章にはおかないで選考している」と証言する。経団連

に加盟していない外資系企業もルールに縛られない。ネスレ日本は9月下旬にインターンを実施し、10月にも内々定を出す方針だ。

29日夕、中央大学は学生向けにインターン説明会を開いた。就職先が決まった4年生を見て3年生が安心しないよう「(理工キャリア支援課)ための。売り手市場で学生の気分は動きを見ていると、のんびり構えてはいられないぞうだ。(相模真紀、松浦龍夫、諸富聡)